

## 平成29年度 江別ブロックの研究

### 研究主題

自分のからだと向き合い、自ら考え行動できる子どもの育成をめざして  
～支援のあり方を通して～

### 主題設定の理由

社会や環境の急激な変化により、子どもたちや家庭は様々な問題を抱えている。特にアレルギーについては、多様で複雑な対応が求められている。

なかでも、食物アレルギーは、命に関わることなので慎重な対応が求められる。江別市としての学校対応の指針も下されたこともあり、食物アレルギーに特化して研究を進めることとした。

子どもたちが自ら考え、行動に結びつけていくためにどのような支援ができるのかを探り、対応のあり方や問題点を整理することにより、アレルギーのある子ども周りの子ども共に育つことができると考え、この主題を設定した。

### 研究の仮説

1. アレルギーのある子どもたちの現状と課題を交流・検討することにより、学校での体制や支援のあり方が明確になる。
2. アレルギーに対する理解を深めることは、自ら考え行動できる子どもたちの育成につながる。

### 研究内容

1. 養護教諭のスタンス、共通理解・認識について全体で確認する。
2. アレルギーに関する調査を行い、結果から見てきた実態のどの部分に焦点をあて取り組んでいくかを明確にし、必要と思われる調査項目を検討し提示する。
3. まとめと考察から明らかになった現状や問題点を子どもの側にたった執務の見直しにつなげていく。さらに市教委への働きかけや給食センター・栄養教諭との交流を行い、問題の改善に向けた取り組みを進める。
4. 学校保健の現状と課題について学習する機会を設け、改善に向けた取り組みを進める。

### 研究の方法

1. グループに分かれて交流・実践を行う。
2. 全体で交流し、検証しながら共有していく。
3. 理論実技研修を行う。